

王子法人会のとある支部の新年会の話しのネタに作成したのを、江戸東京野菜の講演の前座として使いました。

1.の藤鮎が新年会の会場となりました。

2.の西巣鴨交差点は、まだなく、10 数年後、昭和 4 年、5 年に姿を現します。つまり、東京市都市計画道路、通称改正道路の放射九号の現国道 17 号線や明治通りが出来ることです。

3.4.12.は鎌倉街道、或いはその脇となります。明治通りは、池袋と西巣鴨間は鎌倉街道に沿って建設されています。

7.現在の国道 17 号滝野川 5 丁目交差点の脇には、Y 字路がありますが、これは昔の道路が今も使われている証となります。

地図の左に瀧野川、と地名が記されています。当時、この辺りは北豊島郡板橋町大字瀧野川でした。明治 22 年の市町村制前は、この辺りも瀧野川村でしたが、板橋町となったので、このようになりました。

11.近藤勇の墓が有りますが、周辺の道路は今とは全く違います。戦後、都市計画が谷端川から千川上水までの広大な地域で実施されたためです。これにより、南北の谷端公園や板橋駅東口、その駅前広場が整備されました。地権者のまとめ役は、帝国種苗殖産(株)社長だった、越部三四造（もよぞう）です。